

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月10日

上場会社名	株式会社JFLAホールディングス	上場取引所	東
コード番号	3069	URL	https://j-fla.com
代表者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)檜垣 周作	
問合せ先責任者	(役職名)法務総務部長	(氏名)尾崎 富彦	(TEL) 03(6311)8892
四半期報告書提出予定日	2022年8月12日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 無		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	18,856	13.8	△61	—	△51	—	86	—
2022年3月期第1四半期	16,562	2.8	△214	—	△95	—	△170	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 106百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 △190百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	1.87	1.85
2022年3月期第1四半期	△4.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	48,309	8,149	14.2
2022年3月期	48,452	8,282	14.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 6,839百万円 2022年3月期 6,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

2023年3月期の業績予想は、2022年5月13日発表の経営改善計画の進捗状況を踏まえ公表を行う予定であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	46,062,136株	2022年3月期	46,062,136株
2023年3月期1Q	35,635株	2022年3月期	34,831株
2023年3月期1Q	46,027,210株	2022年3月期1Q	41,898,613株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結通期業績予想につきましては、現時点におきましては合理的に算定することが困難なため未定といたします。
今後の動向を見極め、業績予想の開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は新型コロナウイルス感染症による影響が緩和され、経済活動に持ち直しの動きが見られ始めました。一方で不安定な国際情勢に伴うエネルギー価格や穀物価格の高騰、さらに急激な円安進行も加わり物価上昇の兆しも見られ、企業活動や消費者行動の先行きには極めて不透明な状況が続いております。

当社グループの属する食品・飲食業界につきましては、ワクチン接種等の対策が進むものの、新たな変異株の出現などによりコロナ禍の影響を受け、依然として厳しい業況が続いております。また多くの食品・飲料メーカーにおいて原材料価格の上昇を受けて販売価格の値上げが実施されているものの、原価上昇の諸要因は終息の兆しが見られず、依然として不透明な環境が続いております。

当社グループは、このような状況の中で、当期から始まる3か年の中期経営計画「NEXT JFLA 2025」に基づき「新たな価値を創造し、提供するグローバル食品・飲料メーカーへ」をグループテーマに掲げ、2025年3月期には売上高88,000百万円、営業利益2,000百万円を目標とし取り組んでおります。また中期経営計画初年度の当期におきましては、前期業績が社会情勢の影響を大きく受けたことにより当該中期計画と並行して、2022年5月13日に公表いたしました経営改善計画に基づき収益改善に努めてきました。具体的には販売事業部門では不採算継続事業の撤退・売却、生産事業部門では穀物価格やエネルギーの価格変動リスクを吸収する値上げ等の対策、流通事業部門では円安の影響を改善するための売価調整、そして本社部門では固定費削減等に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は18,856百万円（前年同四半期比13.8%増）、営業損失は61百万円（前年同四半期は営業損失214百万円）、経常損失は51百万円（前年同四半期は経常損失95百万円）となり収益改善が進みました。また親会社株主に帰属する四半期純利益は特別利益349百万円の計上などにより86百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失170百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①生産

株式会社弘乳舎は、生乳の需給緩和を背景とした業務用バターや脱脂濃縮乳などの乳加工品の受託収入が前期に引き続き順調に推移しました。九州乳業株式会社、茨城乳業株式会社は、売上高は堅調に推移したものの、穀物や原油価格の高騰などコストが増加したことにより減益となりました。盛田株式会社においては、原材料価格が上昇したものの、醤油の価格改定、業務用商品の改善、メディアにおいて紹介されました「麻布十番三幸園 焼肉のたれ」が継続的に高需要であったこと、また生産稼働率の向上などにより増収増益となりました。以上により、当第1四半期連結累計期間における売上高は10,744百万円（前年同四半期比8.3%増）、営業利益は287百万円（前年同四半期比26.9%減）となりました。

②流通

株式会社アルカンは、新型コロナウイルス感染症対策の緩和により、既存顧客深耕や新規顧客開拓が順調に進み、ホテル・レストラン向けの業務用食材及びワインの売上が好調に推移したことにより増収増益となりました。当第1四半期連結累計期間における売上高は4,766百万円（前年同四半期比30.6%増）、営業利益は59百万円（前年同四半期は営業損失169百万円）となりました。

③販売

当第1四半期連結累計期間末の店舗数は461店舗（2022年3月期連結累計期間末比3店舗の減少）となりました。内訳は、直営店153店舗（2店舗の増加）、フランチャイズ店308店舗（5店舗の減少）となりました。

新型コロナウイルス感染症対策の緩和による経済活動の再開より業績が改善いたしました。当第1四半期連結累計期間における売上高は3,279百万円（前年同四半期比11.4%増）、営業損失は114百万円（前年同四半期は営業損失130百万円）となりました。

④その他

ウェルエイジング事業や店舗開発事業により、当第1四半期連結累計期間における売上高は65百万円（前年同四半期比23.9%増）、営業損失は13百万円（前年同四半期は営業損失18百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は48,309百万円となり、前連結会計年度末に比べ142百万円減少いたしました。

負債合計は40,160百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円減少いたしました。

純資産合計は8,149百万円となり、前連結会計年度末と比べ133百万円減少いたしました。これは主に剰余金の配当184百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は14.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、経営改善計画に基づき、収益構造改革を進めているため、現時点では業績予想の開示は行っておりません。

なお、今後の見通しにつきましては、業績予想の精査、並びに連結業績に与える経営数値の合理的な予想が可能となりましたら、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,869,433	3,660,391
受取手形及び売掛金	8,843,699	9,534,632
商品及び製品	4,496,582	4,707,513
仕掛品	2,490,257	2,729,032
原材料及び貯蔵品	1,375,654	1,456,590
その他	1,175,928	1,102,361
貸倒引当金	△22,309	△19,567
流動資産合計	23,229,246	23,170,954
固定資産		
有形固定資産		
土地	9,485,166	9,485,366
その他(純額)	8,155,560	8,053,872
有形固定資産合計	17,640,726	17,539,238
無形固定資産		
のれん	2,916,681	2,850,403
その他	334,758	313,734
無形固定資産合計	3,251,439	3,164,137
投資その他の資産		
その他	4,557,380	4,644,922
貸倒引当金	△231,159	△210,556
投資その他の資産合計	4,326,220	4,434,365
固定資産合計	25,218,386	25,137,742
繰延資産	4,565	1,281
資産合計	48,452,198	48,309,978

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,428,548	7,036,835
短期借入金	11,629,781	11,855,147
1年内償還予定の社債	146,200	146,200
1年内返済予定の長期借入金	2,841,147	2,649,687
未払法人税等	249,356	211,669
賞与引当金	79,185	143,988
店舗閉鎖損失引当金	81,299	76,603
その他	5,114,619	4,957,693
流動負債合計	26,570,139	27,077,825
固定負債		
社債	153,600	144,500
長期借入金	8,660,351	8,206,262
債務保証損失引当金	64,465	64,465
退職給付に係る負債	912,258	936,830
資産除去債務	1,025,216	1,025,676
その他	2,783,411	2,705,332
固定負債合計	13,599,302	13,083,066
負債合計	40,169,442	40,160,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,513,801	3,513,801
資本剰余金	8,525,795	8,341,686
利益剰余金	△4,524,298	△4,494,521
自己株式	△14,308	△14,569
株主資本合計	7,500,989	7,346,396
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△84,342	△35,304
為替換算調整勘定	△347,051	△392,072
退職給付に係る調整累計額	△97,777	△79,828
その他の包括利益累計額合計	△529,170	△507,205
新株予約権	21,201	21,201
非支配株主持分	1,289,735	1,288,693
純資産合計	8,282,755	8,149,086
負債純資産合計	48,452,198	48,309,978

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	16,562,515	18,856,014
売上原価	11,780,656	13,524,958
売上総利益	4,781,859	5,331,055
販売費及び一般管理費	4,996,280	5,392,324
営業損失(△)	△214,421	△61,269
営業外収益		
受取利息	7,323	7,102
受取配当金	2,094	2,155
為替差益	247,633	133,973
その他	60,014	37,391
営業外収益合計	317,066	180,623
営業外費用		
支払利息	110,190	95,290
持分法による投資損失	5,817	1,685
その他	82,474	73,532
営業外費用合計	198,482	170,508
経常損失(△)	△95,838	△51,154
特別利益		
固定資産売却益	73,133	2,560
投資有価証券売却益	27,502	115,304
助成金収入	172,597	103,076
債務免除益	—	102,297
その他	9,636	26,500
特別利益合計	282,868	349,740
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	108	1,688
投資有価証券評価損	—	78,587
新型コロナウイルス感染症による損失	198,636	17,345
その他	104,150	5,452
特別損失合計	302,895	103,074
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△115,865	195,510
法人税、住民税及び事業税	86,022	135,827
法人税等調整額	17,545	△25,209
法人税等合計	103,568	110,618
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△219,433	84,892
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△48,632	△1,113
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△170,801	86,005

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△219,433	84,892
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	306,307	49,157
為替換算調整勘定	△266,940	△42,502
退職給付に係る調整額	△10,606	15,381
その他の包括利益合計	28,760	22,036
四半期包括利益	△190,673	106,929
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△140,371	107,971
非支配株主に係る四半期包括利益	△50,301	△1,041

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。